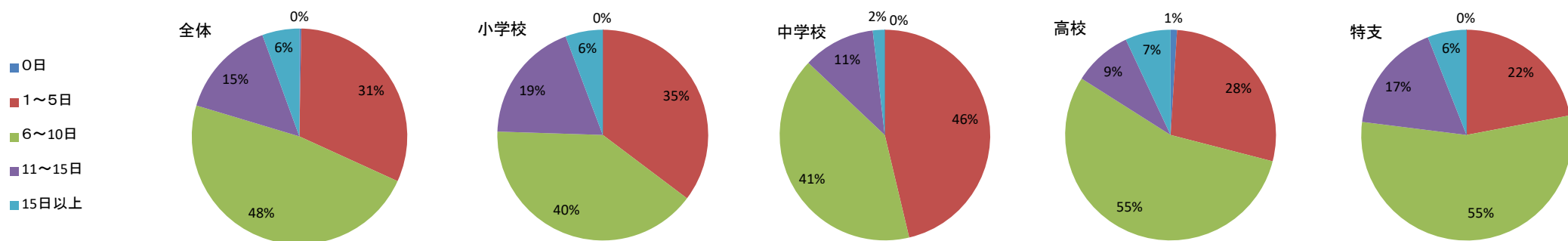


# コロナ禍の教員勤務と

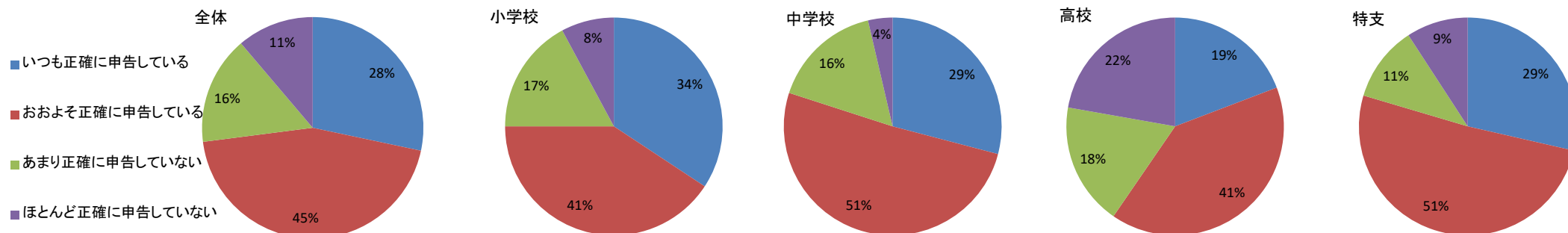
## 1年単位の变形労働時間制の現状について

岐阜県内の公立小・中・義務教育学校、高校、特別支援学校629校から地区・校種が偏らないように17校を抽出。  
対象教員688人(管理職・非正規含む)のうち613人に配布し、396人から回答を得た。(回収率64.6%) <実施日:2020.12.20-2021.1.20>

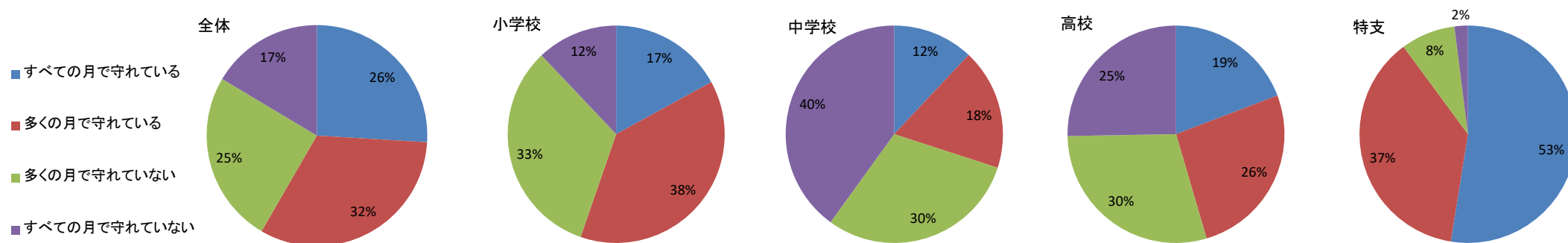
### 1. 2020年の年休はどれくらい取得しましたか



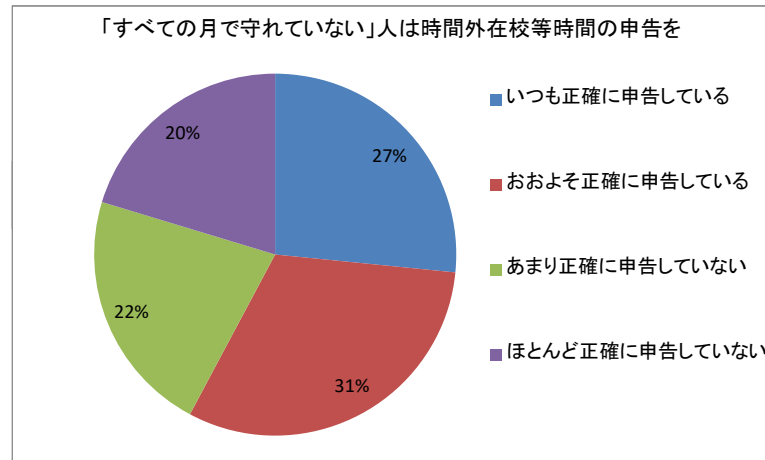
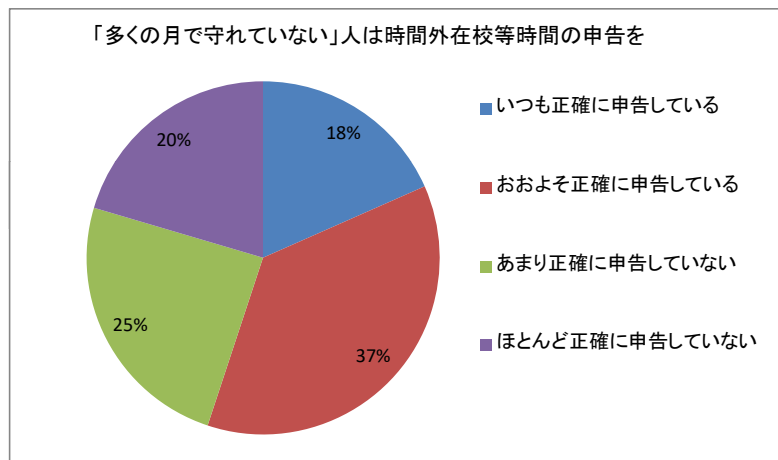
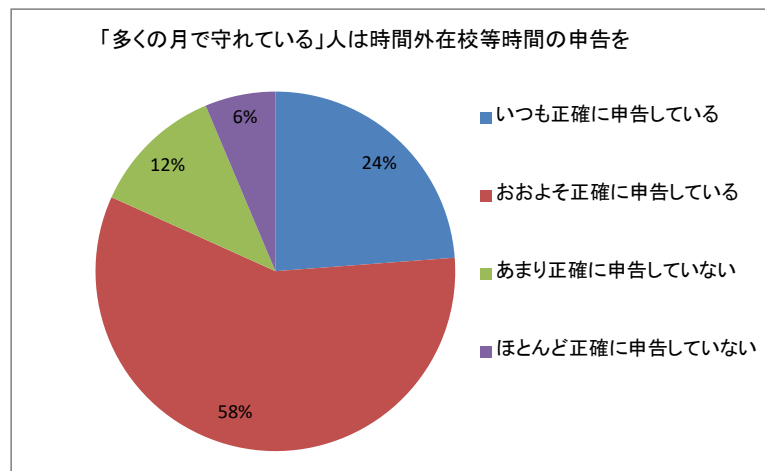
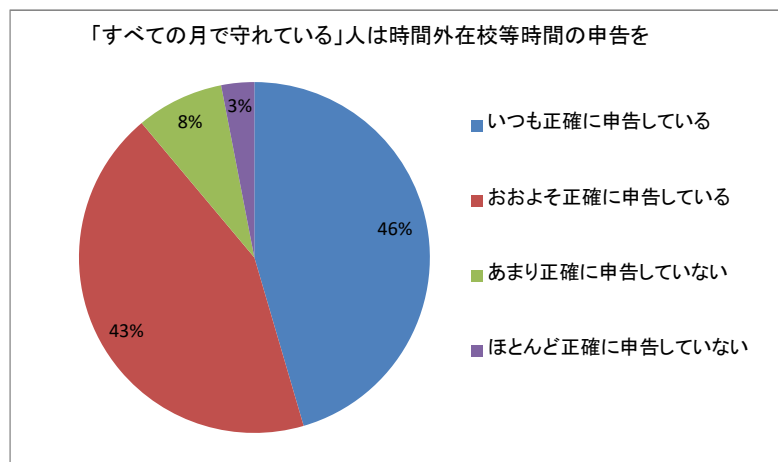
### 2. 時間外在校等時間の申告について



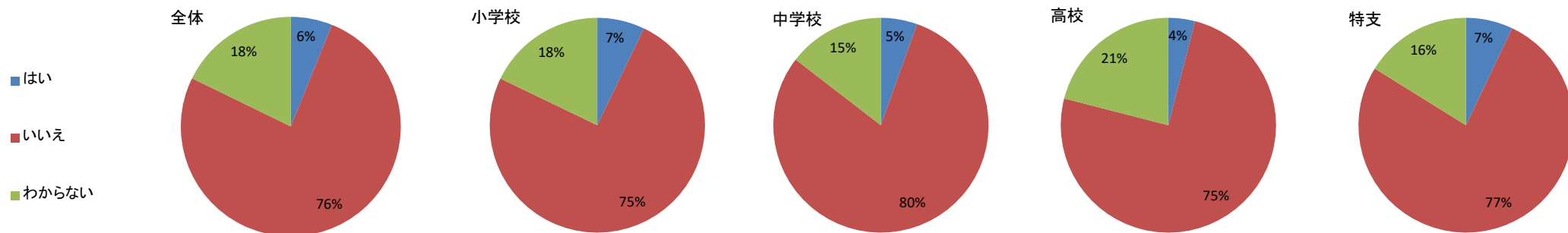
### 3. 授業のある期間の上限方針「月45時間」について



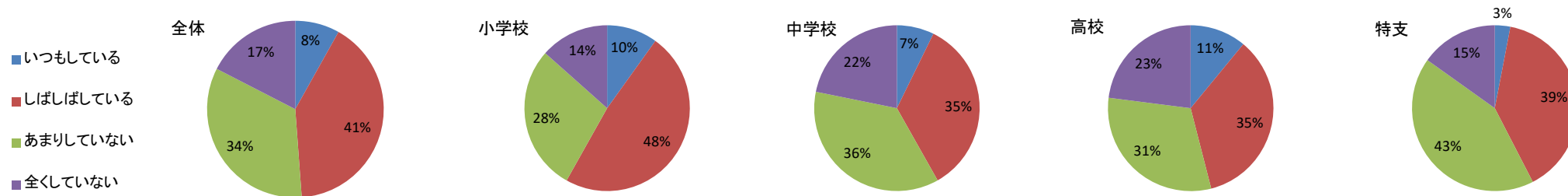
3-2. 授業のある期間の上限方針「月45時間」について



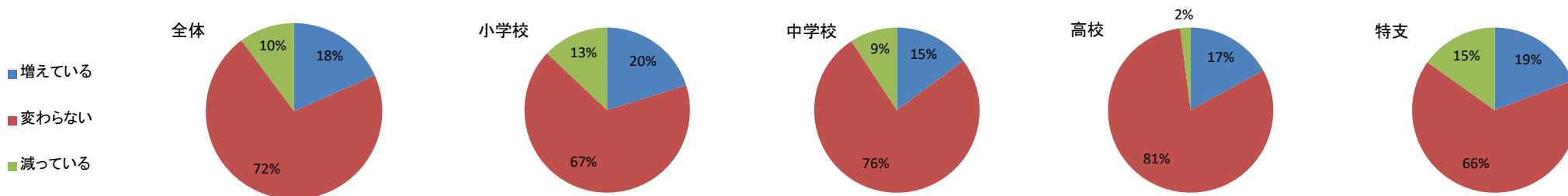
4. 上限方針を守ることに、管理職等からパワハラを感じる言動がありますか



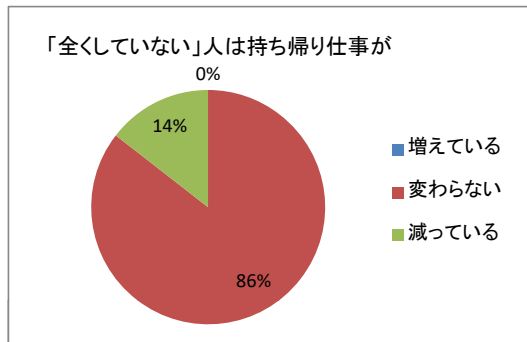
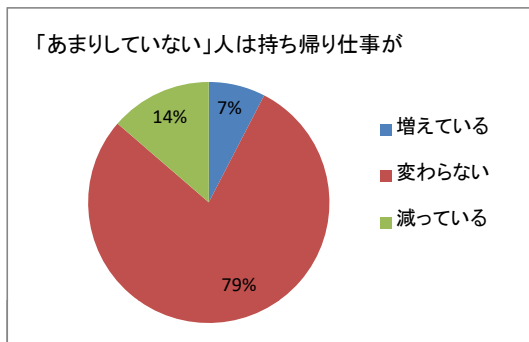
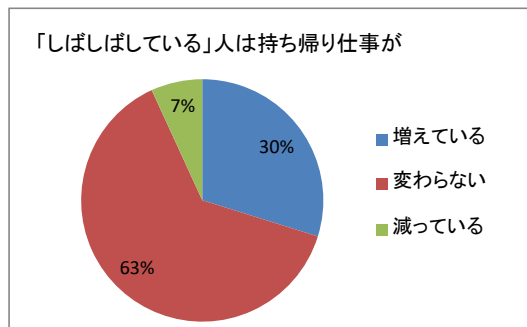
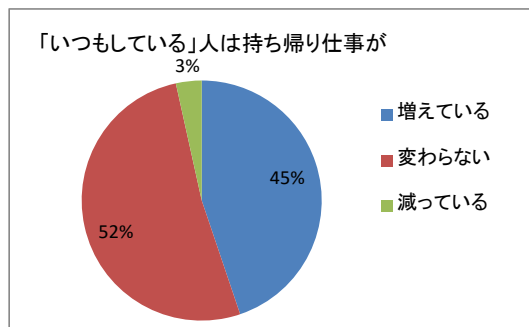
5. 持ち帰り仕事について



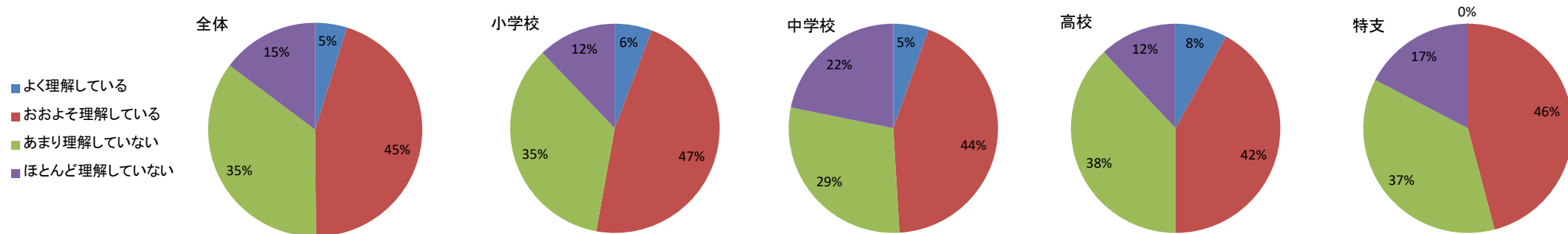
6. 学校再開後の持ち帰り仕事は昨年度までと比べてどうなっていますか



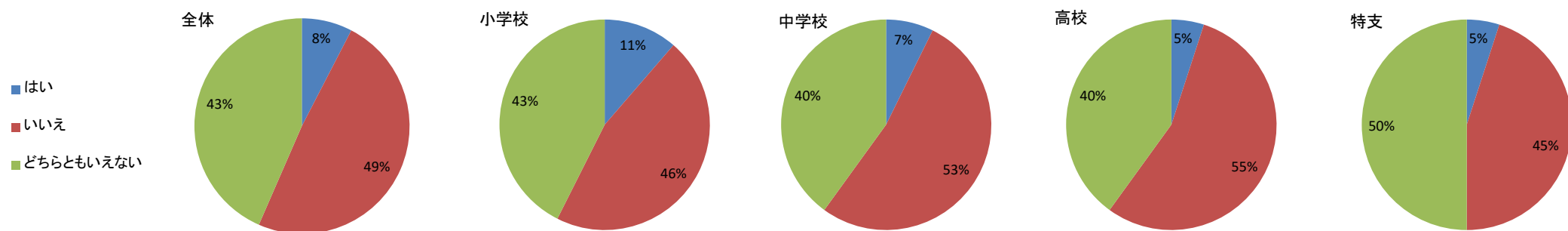
5-6. 持ち帰り仕事について



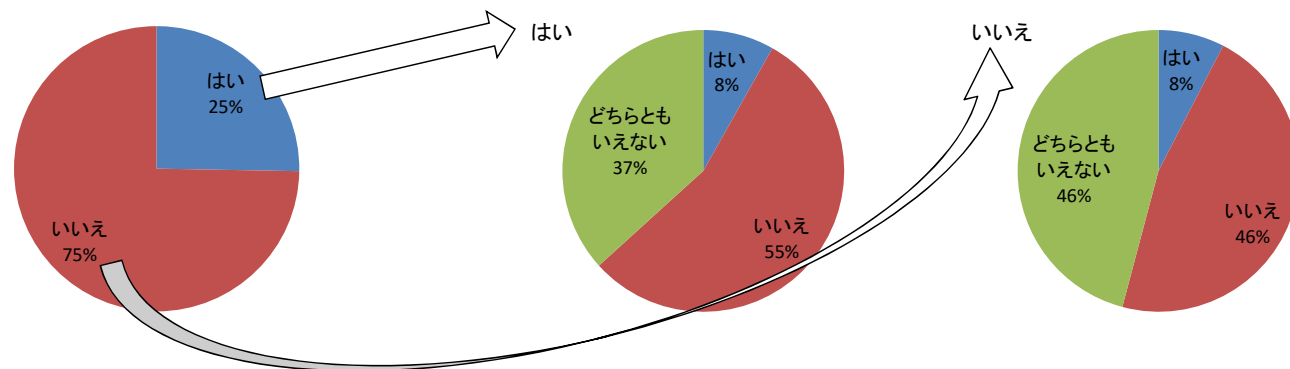
7. 1年単位の変形労働時間制について



8. 1年単位の変形労働時間制の導入に期待していますか



9. 現在、子育てや介護などが負担となっていますか → 1年単位の変形労働時間制の導入に期待していますか



# 「1年単位の变形労働時間制」アンケート

岐阜県内の公立小・中・義務教育学校、高校、特別支援学校629校中17校を抽出。  
対象教員688人(管理職・非正規含む)のうち613人に配布し、396人から回答を得た。(回収率64.6%)

■学校種別・年齢

	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明	合計
小学校	人	30人	25人	23人	46人	11人	6人	141人
中学校	人	16人	12人	9人	11人	4人	3人	55人
義務	人	人	人	人	人	人	人	人
高校	1人	14人	21人	16人	33人	9人	6人	100人
特支	人	32人	24人	16人	20人	5人	3人	100人
不明	人	人	人	人	人	人	人	人
合計	1人	92人	82人	64人	110人	29人	18人	396人

■学校種別・性別

	男	女	無回答	合計
小学校	40人	86人	15人	141人
中学校	29人	21人	5人	55人
義務	人	人	人	人
高校	58人	27人	15人	100人
特支	33人	59人	8人	100人
不明	人	人	人	人
合計	160人	193人	43人	396人

■学校種別・地区

	岐阜	西濃	美濃	可茂	東濃	飛騨	不明	合計
小学校	51人	33人	18人	8人	15人	16人	人	141人
中学校	10人	人	16人	6人	人	23人	人	55人
義務	人	人	人	人	人	人	人	人
高校	41人	36人	人	人	23人	人	人	100人
特支	人	人	人	59人	人	41人	人	100人
不明	人	人	人	人	人	人	人	人
合計	102人	69人	34人	73人	38人	80人	人	396人

1. 1年単位の变形労働時間制について	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明
1 よく理解している	19	8	3	0	8	0	0	0	2	6	3	5	2	1
2 おおよそ理解している	177	66	24	0	42	45	0	1	45	31	25	49	19	7
3 あまり理解していない	139	49	16	0	38	36	0	0	33	31	24	39	6	6
4 ほとんど理解していない	58	17	12	0	12	17	0	0	11	14	11	16	2	4

2. 1年単位の变形労働時間制の導入に期待して	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明	男	女	無回答	子育て介護負担 はい	いいえ
1 はい	30	16	4	0	5	5	0	0	5	6	6	9	2	2	8	17	5	8	22
2 いいえ	194	65	29	0	55	45	0	1	43	38	30	56	17	9	93	84	17	54	135
3 どちらともいえない	172	60	22	0	40	50	0	0	44	38	28	45	10	7	59	92	21	36	133

3. 現在、子育てや介護などが負担となっていますか	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明	男	女	無回答
1 はい	98	43	16	0	18	21	0	0	3	29	23	29	11	3	44	45	9
2 いいえ	290	97	39	0	79	75	0	1	88	49	40	80	17	15	113	144	33

4. 2020年の年休はどれくらい取得しましたか	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明	男	女	無回答
1 0日	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2 1~5日	124	49	25	0	28	22	0	0	39	30	14	25	9	7	51	60	13
3 6~10日	188	56	22	0	55	55	0	1	43	39	37	53	7	8	81	87	20
4 11~15日	58	26	6	0	9	17	0	0	8	7	9	24	8	2	17	36	5
5 15日以上	22	8	1	0	7	6	0	0	2	6	3	7	4	0	11	7	4

5. 時間外在校等時間の申告について	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明	すべて守	多く守	多く守れず	すべて守れず
1 いつも正確に申告している	111	48	16	0	19	28	0	0	26	17	20	25	17	6	45	30	18	17
2 おおよそ正確に申告している	175	57	28	0	40	50	0	0	39	40	27	59	8	2	43	73	36	20
3 あまり正確に申告していない	62	24	9	0	18	11	0	0	19	11	12	13	3	4	8	15	24	14
4 ほとんど正確に申告していない	44	11	2	0	22	9	0	1	8	14	3	12	0	6	3	8	20	13

6. 授業のある期間の上限方針「月45時間」について	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明
1 すべての月で守れている	101	24	6	0	19	52	0	0	16	23	20	25	12	5
2 多くの月で守れている	126	54	9	0	26	37	0	0	29	24	17	43	9	4
3 多くの月で守れていない	98	46	15	0	29	8	0	0	29	20	11	29	4	5
4 すべての月で守れていない	64	17	20	0	25	2	0	1	17	15	13	11	3	4

7. 上限方針を守ることにに関して、管理職等からパ	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明
1 はい	24	10	3	0	4	7	0	1	7	4	2	8	0	2
2 いいえ	300	105	44	0	75	76	0	0	69	65	49	79	25	13
3 わからない	70	25	8	0	21	16	0	0	16	13	12	22	4	3

8. 持ち帰り仕事について	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明	昨年比較		
															増えている	変わらない	減っている
1 いつもしている	32	14	4	0	11	3	0	0	11	4	5	9	0	3	13	15	1
2 しばしばしている	161	68	19	0	35	39	0	1	39	33	27	44	8	9	48	102	11
3 あまりしていない	133	40	20	0	31	42	0	0	31	28	22	33	17	2	10	104	18
4 全くしていない	69	19	12	0	23	15	0	0	11	17	9	24	4	4	0	59	10

9. 学校再開後の持ち帰り仕事は昨年度までと比べ	全体	小	中	義務	高	特	不明	20以下	20代	30代	40代	50代	60以上	不明	持ち帰り仕事について			
															いつも	しばしば	あまり	全く
1 増えている	72	28	8	0	17	19	0	0	21	19	12	16	2	2	13	48	10	0
2 変わらない	280	93	41	0	81	65	0	1	57	53	45	88	20	16	15	102	104	59
3 減っている	40	18	5	0	2	15	0	0	11	9	7	6	7	0	1	11	18	10

10. この制度や、上限方針、部活動改革等の「働き方改革」全般について疑問、意見があれば自由にお書きください。(139人の記述より抜粋)

- ・校内での説明なし。何も説明なしで進められているのでは？もっと教員を大事にしたいなら、説明なしで改革しないでほしい。改革でなく改悪なのではないか？
- ・仕事量自体は減っていない上に、長期休暇期間も教員は決してヒマではないと思います。実際の労働時間は変わらないのに減ったように見せかける最悪の制度ではないでしょうか。
- ・すでに夏も冬もいつでも残業状態なので、変形労働時間制は意味をなさないと思います。夏休みも現在の4日休むだけでも難しいです。
- ・8月に休めると思えない。どのみち年休も取れなかったり振休で休みが補われてしまっている。8月にプールや日直、研修がある上に、「夏休みにやっておきましょう」というニュアンスの仕事が多々あるので、更に仕事が増えるか休日が減ると思われる。時間が減らないなら給料を上げるしかない。
- ・4, 5月に勤務時間を増やして、8月にまとめて取ると言われても、8月は部活動の大会が多く、練習時間も長いので、(更に年休消化と言われても) 休みを取れる日がない。日頃の部活の活動時間が長い人こそ休みを多く取らなくてはいけないのに取れない。部活の活動が少なく、日頃から休みやすい人ほど8月は休みやすい矛盾。部活をどうにかしてほしい。
- ・長期休暇中しか年休が取れないのに、変形労働時間制になったら、年休を取る機会がさらになくなるだけではないかと思います。
- ・教員は仕事の内容的に常にストレスを抱えている(対児童生徒、対保護者、対同僚: ティームティーチング指導)。変形労働時間制にすれば、ストレスが無くなるわけではない。決まった周期での休息が大切だと思う。
- ・毎日数時間の疲労の蓄積が、夏休み、冬休みの数日で解消はされない。その週の内、もしくは翌週までに超過分を解消するのが望ましい。子どもたちが15:30までいて、その後、消毒、清掃をすると、定時(17時)までに仕事ができる時間は1時間程度。月45時間の設定がそもそも厳しい。教員に課せられる文書仕事、調査等が軽減できると良い。
- ・学校全体で一律に導入では、弱者にとって深刻な事態になります。管理職の仕事をさらに増やしかねません。
- ・私自身は現在の業務形態に全く問題を感じていない。全体への対策ではなく、困っている人に対する支援策を個別対応できるようにしてください。巻き込まれるのはごめんです。
- ・学校に家庭の事情を伝えたことで、校長先生が対応して下さり、子どもを育てながら働いています。しかし、他の先生方に負担して頂く業務内容や時間帯があり、大変申し訳ない気持ちでいるので、根本が変わると良いのに、と強く願っています。(教員の数が増えたらいいのに…)

- ・長時間勤務の原因の多くは部活動の指導だと思います。
- ・部活動は完全に切り離さない限り、抜け道を見つけて教員の負担が減らないことが常態化してしまう(している)と思う。完全に切り離さないのであれば、部活動手当を増額すべきかと。
- ・通常の勤務と部活動を同じ人間が担当する限り、働き方改革は難しいと思っています。休める勤務状況ではありません。
- ・部活を早く外部委託にしてほしい。
- ・働き方改革と言われていますが、業務は少なくなっています。かえって、形だけのアンケート調査が多くなりストレスになっている。逆に忙しくなった。
- ・やらなければいけない事は増えるのに、時間までに帰るように言われるのには無理がある。
- ・教員に求められていることと働き方改革は現状ではどう考えても釣り合うものではないと思う。勤務時間は減らせと無理なことをする前に、体制を整えてほしい。
- ・上限を超えるためんどくさいから、超えないために時間を正確に申告していないから悪循環だと感じる。何のための申告なのか、よく分からない。
- ・多くの先生方が、勤次郎の記録を正確に行っていないと思う。私自身、土日出勤をしても正確に記録していない。
- ・残業時間が出ないように入力時に調整するよう言われた。実際正直に報告しているが、正直に報告すると注意されたり、「長時間残業したこと」への反省文を書かされる。
- ・〇時までに帰れない人は、計画的に仕事ができない人なのでダメです、みたいな雰囲気は嫌だなーと思っています。
- ・上限方針を守るように、言っている自分が先生方の業務に対して思いも分かるし、改善ができていないのに守るよう伝えているのは辛い所がある。改善できた上で依頼できるようになるとよいと思っているが改善出来ていない。具体的な改善策を提示しないと周知されないと思っている。改善するには、校内での取り組みだけでなくマンパワーが必要。(管理職)
- ・上限方針を守ると、家庭への持ち帰り仕事が増すだけだと思う。
- ・「働き方改革」により、帰宅時間は早くなったが、持ち帰りの仕事は増加している。学校でしか行えない業務もあるため、業務の優先順位を付けながら行っている。結果的に教科等の教材作成が(自分一人で行うため) 最後[後回し]になる。
- ・個人情報を中心に扱うので、持ち帰れずに残業が多くなり指導を受けました。指導を受けて感じたことは皆正確に申告していないこと、個人の努力で残業を減らすような指導で非常に空しかったことです。現場の疲労感の軽減には人員確保と業務の手放しが不可欠だと思う。

- ・そもそも残業を減らそうと思っていない人が多い。勤務時間外や土日祝日に仕事  
が普通に入る。それを指摘すると冷たくされる。
- ・年休を無理に取らされて「透明人間として来てほしい」と言われている同僚を見  
ると気の毒です。懇談前等準備に時間がかかるときも8の付く日は強制的に帰ら  
40 されることや、勤務時間簿もうそを書いている人ばかりなのに、働き方改革が成  
功していると議会で話されているのを見るとおかしく思う。テスト週間にはテス  
ト作成や採点があるのにいつも長い会議が入る。それなのに年休が取れていない  
人にそういうテストの時期に取ればいいというのは矛盾する。
- ・小中の教員の話を知ると、5時以降に会議が設定されていることが当たり前と聞  
45 きます。定時に帰りにくい雰囲気もあります。学校によって差があるのは良くない  
と思うので、すべての学校で休みやすい、帰りやすい体制が必要だと思います。
- ・この制度がどうかの前に、月45時間を超えずに働くことが無理。いつ立場の  
ある方が「やれと言われても無理」と言ってくれるのでしょうか。
- ・教員の本来の仕事である児童生徒への教授が、雑用に追われてできていない状況  
50 である。日直や家庭指導、部活、情報機器管理…など外部の専門家に委託するな  
どしないと勤務時間だけが短くなって仕事がおろそかになるだけ。子どもたち  
にしわ寄せがいくだけになってしまう。
- ・働き方改革と言われているが、残業デーや8の日があるだけで、実質変わってい  
ない。生徒にとって必要な行事や取組を削減して、働き方改革としている部分も  
55 あり疑問に思うところがある。書類の提出、作成が多すぎる。教員が授業準備に  
集中できない。会計や日々の消毒、それだけをやる人を置いてもいいのではない  
かと思う。雑務が多すぎる。
- ・お金をかけずに労働者の負担を減らすことができる業態なんて、世の中に1つも  
60 ない。企業が働き方改革で当たり前にお金を使っている中、学校現場については、  
お金をかけずに改革と言っても机上で理屈をこねまわしているだけのように感  
じる。明らかにやる人が多い人、年間通じてたくさんいるし、中々分担するわ  
けにもいかなない仕事もあるので、もう少し現実的に考えてほしいと思う。
- ・残業代支給による給与体制の変更（部活動手当でなく、残業、休日手当とする）  
65 をするだけで、その支給を減らすためにより真剣に早期帰宅を促す体制をつくれ  
るようになるのでは（極端な意見ですが）？小中（特に中）学校では、すでに下  
校時刻が勤務時間をオーバーしていることを当たり前としている現状をどうに  
かしてほしい。
- ・形だけ見かけ上の働き方改革は不要です。人員を増やす、平等に仕事をふる、労  
70 働に対して正しい対価が支払われることで、肉体的にも精神的にも楽になります。

## 「1年単位の變形労働時間制」アンケート

2021年1月20日までに

へご提出ください

岐阜県教職員組合

- |     |         |       |          |       |          |         |
|-----|---------|-------|----------|-------|----------|---------|
| ●学校 | ① 小学校   | ② 中学校 | ③ 義務教育学校 | ④ 高校  | ⑤ 特別支援学校 |         |
| ●年齢 | ① 20歳未満 | ② 20代 | ③ 30代    | ④ 40代 | ⑤ 50代    | ⑥ 60歳以上 |
| ●性別 | ① 男     | ② 女   | ③ 無回答    |       |          |         |

- 1年単位の變形労働時間制について
  - ① よく理解している
  - ② おおよそ理解している
  - ③ あまり理解していない
  - ④ ほとんど理解していない
- 1年単位の變形労働時間制の導入に期待していますか
  - ① はい
  - ② いいえ
  - ③ どちらともいえない
- 現在、子育てや介護などが負担となっていますか
  - ① はい
  - ② いいえ
- 2020年の年休はどれくらい取得しましたか
  - ① 0日
  - ② 1～5日
  - ③ 6～10日
  - ④ 11～15日
  - ⑤ 15日以上
- 時間外在校等時間の申告について
  - ① いつも正確に申告している
  - ② おおよそ正確に申告している
  - ③ あまり正確に申告していない
  - ④ ほとんど正確に申告していない
- 授業のある期間の上限方針「月45時間」について
  - ① すべての月で守れている
  - ② 多くの月で守れている
  - ③ 多くの月で守れていない
  - ④ すべての月で守れていない
- 上限方針を守ることにに関して、管理職等からパワハラと感じる言動がありますか
  - ① はい
  - ② いいえ
  - ③ わからない
- 持ち帰り仕事について
  - ① いつもしている
  - ② しばしばしている
  - ③ あまりしていない
  - ④ 全くしていない
- 学校再開後の持ち帰り仕事は昨年度までと比べてどうなっていますか。
  - ① 増えている
  - ② 変わらない
  - ③ 減っている
- この制度や、上限方針、部活動改革等の「働き方改革」全般について疑問、意見があれば自由にお書きください。